

。○。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2016. 8. 22

下水道機構の『新技術情報』 第247号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。○。

先週はメルマガは夏休みをしましたので、2週間ぶりのメルマガとなります。先週から日本列島は台風の襲来を受けています。本日は台風9号の接近にともない機構のある新宿区も風雨が激しくなっています。下水道関係者の皆さんも台風対策や被害の対応など奔走されているかと思います。大変お疲れ様です。どうぞお気をつけてください。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第247号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

・【再掲】9/8(木)技術サロンの参加者を募集しています！

■機構の動き

・今週は、8/24(水)に沖縄県下水道BCP作成に関する共同研究第1回勉強会を、8/26(金)に下水道新技術セミナー@大阪会場を開催します

■Tea Break

・花火(研究第二部 Y. Kさんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

・本日のゆいまーるは、大阪科学技術センターから「これからの下水処理場のあり方に関するセミナー」のご案内です

■国からの情報

・8/13付、8/19付下水道ホットインフォメーション

。○。○。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。○。○。

●【再掲】9/8(木)技術サロンの参加者を募集しています！

ゲストに国土交通省 国土技術政策総合研究所 下水道研究部 下水道研究官 岡本 誠一郎 氏をお迎えして、「下水道技術ビジョンの進化－その目指すところ－」をテーマに開催します。多数の皆様のご参加をお待ちしております！

お申し込みは機構ホームページから

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

※下水道技術ビジョン

国土交通省は、下水道施設の老朽化対策、近年頻発する集中豪雨などに対応した浸水対策など、下水道の今後の重要な課題を解決するため、11の技術開発分野ごとに技術目標を設定し、技術目標達成に至るまでのロードマップをまとめ、今後の技術開発の方針を示した「下水道技術ビジョン」を平成27年12月に策定しました。

国土技術政策総合研究所は産官学が連携した「下水道技術開発会議」を開催し、下水道技術ビジョンのフォローアップおよび下水道ビジョンを実現していくための技術開発の推進方策等の検討を進めています。

先ごろ、早期に研究開発が急がれるもの、中長期的に課題解決が不可欠なものとして、下水道技術開発会議において選定された7項目を重点課題として公表しました。

。○。

機構の動き (機構の行事予定です)

。○。

●日 時：平成28年8月24日(水) 13:00～17:00

行 事：沖縄県下水道BCP作成に関する共同研究第1回勉強会

場 所：沖縄県庁11階第1・2会議室

参加団体：沖縄県、県内26自治体

内 容：事例から見た下水道BCPの必要性、下水道BCP共同研究の概要説明、
下水道BCPの考え方(案)、BCPひな形(案)の解説、今後の予定等

●日 時：平成28年8月26日(金) 13:00～16:45 (受付12:30～)

行 事：第64回下水道新技術セミナー【大阪会場】

場 所：大阪市西区 大阪科学技術センター

テーマ：「新たな内水浸水対策の取り組み」

※お申し込みはこちら

⇒ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/new-tech-seminar/seminar-info>

○平成28年9月8日(木) 17:00～18:00

行 事：第351回技術サロン

場 所：機構8階 中会議室

ゲスト：国土交通省 国土技術政策総合研究所

下水道研究部 下水道研究官 岡本 誠一郎氏

テーマ：「下水道技術ビジョンの進化－その目指すところ－」

※お申し込みはこちら

。○○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○○。

●花火(研究第二部 Y. Kさんからの投稿です)

先日、近所の町内会の夏祭りに行ってきました。メインイベントである花火の観賞が目的です。それほど混雑していないので、暗くなり始めてから自宅を出て会場に向かい、ブルーシートを敷き、出店で調達した夕飯を食べながら待っていると、花火が打ちあがりました。花火は小さくて、数も少ないのですが、打ち上げの様子が見えるほど距離が近いので、大迫力です。また、1発ずつ丁寧に打ち上げられるので、それぞれの花火の一生をじっくりと観賞する中で、日本人の美意識であるもののはれを感じました。その他にも、地元のよさこいチームや太鼓クラブの出し物なども楽しく観賞しました。

大きな花火大会もにぎやかで楽しいのですが、このような小規模な花火も良いものだと感じました。予算的には大変だとの話を耳にしましたが、これからも長く続けてほしいです。まだ、しばらくは残暑が続きますが、夏ならではの楽しみを満喫しながら、暑さを乗り切りたいと思います。

。○○。

まる子のゆいまーる (皆様との交流の場です)

。○○。

●本日のゆいまーるは、大阪科学技術センターから「これからの下水処理場のあり方に関するセミナー」のご案内です

「これからの下水処理場のあり方に関するセミナー」

～自立電源確保とバイオマスエネルギー利用～ (参加費無料)

http://www.ostec.or.jp/data/news_ostec/20160719-1.html

*チラシ/申込書→ <http://www.ostec.or.jp/data/pdf/H281003seminar.pdf>

【送信先: gesui@ostec.or.jp】

大阪科学技術センターでは、平成11年度から平成27年度まで、17年間にわたり、関西地区における下水処理施設を対象とした下水バイオマスのエネルギー有効利用に関する研究(研究会委員長 宗宮 功 京都大学名誉教授)を行ってまいりました。

本セミナーでは、この多年にわたる研究会活動を踏まえたエネルギー有効利用に関する技術動向の報告とともに、平成24年度から平成27年度にかけ実施した「下水道施設における自立電源・エネルギー有効利用システム」の研究成果について紹介します。

さらに、下水バイオマスエネルギーの利用が重要視されている昨今の現状をふまえ、

それに関する「国の最近の動向・施策」、「下水汚泥エネルギー化 最新技術」についても紹介します。

下水バイオマスエネルギーの今後の方向性を一層ご理解頂き、バイオマスエネルギー利用の促進について考える、またとない機会となりますので、万障お繰り合わせの上、ご参加下さいますよう、宜しく願い申し上げます。

■日 時：平成28年10月3日(月)14:00~17:00

■場 所：大阪科学技術センタービル 8F 大ホール

ご案内図 <http://www.ostec.or.jp/data/access.html>

■参加対象：全国自治体、大学、公的機関、関連企業の方々を対象 定員200名

■講 演：

*チラシ/申込書→ <http://www.ostec.or.jp/data/pdf/H281003seminar.pdf>

(1) 講演1：14:00~14:30

「関西地区下水バイオマスエネルギー有効利用研究と今後の下水道のあり方」

京都大学 名誉教授 宗宮 功 氏

(2) 講演2：14:30~15:10

「下水バイオマスのエネルギー利用に関する最近の動向」

国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 下水道事業課

事業マネジメント推進室長 石井 宏幸 氏

(3) 講演3：15:20~16:00

「再生可能エネルギーとしての下水汚泥エネルギー化技術」

大阪産業大学 人間環境学部 生活環境学科 特任教授 津野 洋 氏

(4) 講演4：16:00~17:00

「下水処理施設におけるエネルギー有効利用と自立電源システムの研究」

日本環境技研株式会社 環境計画部 専任部長 須田 礼二 氏

■参加費：無料

■後援(予定)：近畿経済産業局、近畿地方環境事務所、近畿地方整備局、

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 関西支部

■協力：大阪ガス株式会社

■申込方法：メールまたは、FAXにて下記宛お申し込み下さい。

FAXの方は、<http://www.ostec.or.jp/data/pdf/H281003seminar.pdf>
を印刷いただき、【FAX:06-6443-5319】までご送付下さい。

・メールの方は、【送信先:gesui@ostec.or.jp】まで会社/機関名、所属・役職、氏名、住所、電話番号、メールアドレスをご明記の上、までお申込み下さい。

■申込締切：平成28年9月26日(月)

◆本件問い合わせ先

〒550-0004 大阪市西区靱本町1丁目8番4号

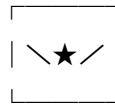
(一財)大阪科学技術センター技術振興部 石田、橋本

Tel: 06-6443-5322、FAX: 06-6443-5319

E-mail: gesui@ostec.or.jp

皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→



jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2016.8.12 付 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 岩崎宏和

=====

「広島（カープ）の外野は下水流が守る！ 広島の浸水は下水道が守る！」

以前ここで紹介した広島カープの下水流選手を活用した広島市のポスターが完成し、市役所や市内の下水道工事現場などに貼られているということですが、本省下水道事業課にも貼られています。ツイッターでは、広島下水道やるな、いいセンスだ、などと好評のようです。残念ながら、現在のところ市のホームページで公表されていませんので、ネット上でご覧になりたい方は、1 行目のポスターのタイトルで検索してみてください。

広報といえば、下水道事業課でも加藤課長の指導の下、あるプロジェクトが準備中です。ご期待下さい。

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○大阪市下水処理場消化ガス発電事業 (FIT 制度活用) の維持管理・運営開始について
(大阪市)

○「ISO 55000 シリーズ (アセットマネジメント) 講習会 2016」のご案内
(（一社）京都ビジネスリサーチセンター)

=====

○大阪市下水処理場消化ガス発電事業 (FIT 制度活用) の維持管理・運営開始について
(大阪市)

大阪市では、平成 28 年 8 月より大野下水処理場において、再生可能エネルギーの固定価格買取制度 (FIT) を活用した消化ガス発電事業の維持管理・運営を開始しました。

大阪市では、平成 27 年 5 月に株式会社 OGCTS、月島機械株式会社、月島テクノメン

テサービス株式会社と契約し、市内4か所の発電事業を平成29年4月事業開始予定とし、そのうち、施設整備が順調に進捗した大野では開始時期を早めることになりました。

また、併せて新築式典を行い、その様子はNHKニュース、新聞各社等の報道機関に取り上げられ、再生可能エネルギーの利用拡大に対する下水道のポテンシャルへの国民の関心の高さが伺い知れました。

4処理場全てでの運用開始により、本市で消化ガスの発生する6処理場全てでコジェネレーションを採用し、消化ガスの有効利用をほぼ100%達成します。

本事業の効果として発電量約2,580万キロワットアワー／年（一般家庭約7,100世帯分の年間電力消費量に相当）と温室効果ガス削減量約13,000トン-CO2／年（大阪城公園約16個分の森林が1年間に吸収する量に相当）が期待できます。

併せて、大阪市にも消化ガスの売却益及び土地占用料として、年間約3.3億円の財政的メリットもあるものとなっています。

大阪市発表ホームページ：

<http://www.city.osaka.lg.jp/hodoshiryo/kensetsu/0000369615.html>

〈毎日新聞〉

<http://mainichi.jp/articles/20160803/ddn/008/020/030000c>

〈読売新聞〉

<http://www.yomiuri.co.jp/osaka/news/20160803-0Y01T50008.html>

○「ISO 55000 シリーズ（アセットマネジメント）講習会 2016」のご案内

（（一社）京都ビジネスリサーチセンター）

アセットマネジメントの国際規格 ISO5500X に関する国内審議団体として経済産業省から認可を受けた一般社団法人 京都ビジネスリサーチセンター（KBRC）が実施する「ISO 55000 シリーズ（アセットマネジメント）講習会 2016－国際標準型アセットマネジメントの方法－」の情報です。

この講習会については、毎年下水道ホットインフォメーションでご案内しておりますが、6年目となる本年は、ISO 55001 審査員の継続教育にも資するよう内容を刷新し、ISO 55001 の枠組みに沿った国際標準型アセットマネジメントシステムについて体系的に解説するとともに、最新情報に基づいた国際規格の動向や、各分野における先端的なアセットマネジメントの事例を紹介いたします。

また、初日の講義終了後、講演者と参加者の皆様に意見・情報交換を行って頂けるよう、意見交換会の場を設けております。

受講対象者は、アセットマネジメント及び ISO 55000 シリーズの実務に携わる実務者、アセットマネジメントに興味を持つ学生の皆様と考えております。講習会をすべて受講された方には KBRC より修了証を発行いたします。

また、本講習会は、土木学会の認定 CPD（継続教育）プログラムとして単位認定を受ける事が可能ですので、下水道事業に携わる地方公共団体の皆様や ISO55001 の第三者認証にご関心のある民間企業の方々など、

奮ってご参加くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

日時：平成 28 年 8 月 22 日（月）～ 8 月 24 日（水）：3 日間

場所：京都大学産官学連携本部

東京日本橋サテライトオフィス 9 階 912, 913 会議室

https://www.saci.kyoto-u.ac.jp/?page_id=4961

参加費：法人 54,000 円／1 口（1 口で 2 名まで参加可能）

個人 32,400 円、学生 10,800 円

申込方法：次の URL をご参照ください。

<http://kbrc.jp/summerschool/ss2016>

締切が 8 月 10 日となっておりますが、まだ十分間に合います。

=====

【参考情報】

◆公強事業ふたたび（上）中身より規模ありき 優先順位 議論乏しく〈8/10 日本経済新聞〉

<http://www.nikkei.com/article/DGKKZ005898950Q6A810C1EE8000/>

◆大阪府富田林市ら 4 市町村／改正下水道法で全国初の法定協設置／事務の広域化など検討

〈8/9 日刊建設工業新聞〉

<http://www.decn.co.jp/?p=74692>

◆（リオ）競技会場の水質汚染深刻 対策後手、健康に懸念も〈8/10 産経ニュース〉

<http://www.sankei.com/photo/story/news/160810/sty1608100024-n1.html>

◆下水道汚泥を食に活用 佐賀で研修会〈8/10 読売新聞〉

<http://www.yomiuri.co.jp/local/saga/news/20160809-0YTNT50016.html>

◆足利のマンホールカードにファン殺到 初日は行列、追加作製検討 栃木〈8/7 産経ニュース〉

<http://www.sankei.com/region/news/160807/rgn1608070044-n1.html>

◆バイオマス直接効果 CO2 売却益上乗せ〈8/6 佐賀新聞〉

<http://www.saga-s.co.jp/news/saga/10101/341691>

◆下水道デーイベントのお知らせ「下水道のひみつをさがせ！」〈8/5 財経新聞〉

<http://www.zaikei.co.jp/releases/384476/>

◆談話室 バイオマス全国モデルに〈8/5 佐賀新聞〉

<http://www.saga-s.co.jp/news/saga/10101/341281>

=====

下水道ホットインフォメーション（2016.8.19 付 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 岩崎宏和

=====

マンホールカードの記事（下記にリンク有）で全国デビューした下水道企画課の長

谷川係長ですが、国際技術企画係長の彼が何故？とマンホールカード担当の斎野補佐に聞いてみたところ、若手を探していたままたま目についたからということでした。ちなみに彼は、大阪府下水道室長の息子さんであり、親子そろって下水道界で活躍されています。

秋田県湯沢市の副市長が、ラップで湯沢をPRして話題になっているようです。総務省から出向の若い副市長で、去年に引き続き2作目だそうです。「副市長ラップ」はYouTubeで見ることが出来ます。そういえば昔、「下水道ラップ」もあったなと思ひ出しました。

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○過給式（ターボ型）流動燃焼システム技術講習会のご案内
（国立研究開発法人土木研究所 先端材料資源研究センター）

=====

○過給式（ターボ型）流動燃焼システム技術講習会のご案内
（国立研究開発法人土木研究所 先端材料資源研究センター）

国立研究開発法人土木研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、月島機械（株）、三機工業（株）、東京都下水道局は、省エネルギーでかつ温室効果ガス排出の少ない下水污泥焼却炉である「過給式（ターボ型）流動燃焼システム」を開発し、平成27年度には、国土技術開発賞（主催：（一財）国土技術研究センター、（一財）沿岸技術研究センター）の最優秀賞を受賞しました。

本技術のさらなる理解促進を図るため、土木研究所として下記のとおり下水道関係技術者を対象とした実機導入現場での見学を含む技術講習会を行いますので、ぜひご参加頂きますよう、よろしくお願いいたします。

主催 国立研究開発法人土木研究所
期日 平成28年9月28日（水）13:30～16:00（13:15開場）
場所 東京都下水道局 葛西水再生センター
参加費：無料
申し込み 要事前申し込み
プログラム、申し込み方法等の詳細は下記URLをご覧ください。
<http://www.pwri.go.jp/jpn/about/pr/event/2016/0928/index.html>

=====

【参考情報】

◆マンホールカード、人気じわり〈8/14 時事通信〉
<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20160814-00000103-ji-jp-soci-view-000>
<http://www.jiji.com/jc/article?k=2016081400152&g=soc>

◆浸水履歴マップ 仙台市HP9月から公開〈8/18 河北新報〉
http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201608/20160818_13024.html

◆足寄の市街地冠水 台風7号、道東に大雨 JR50本運休〈8/18 北海道新聞〉

<http://dd.hokkaido-np.co.jp/news/society/society/1-0305938.html>

◆宇都宮などで床下浸水 17日の大雨被害〈8/18 下野新聞〉

<http://www.shimotsuke.co.jp/news/tochigi/local/news/20160818/2421705>

◆大槌で仮設団地の敷地冠水 県内大雨、倒木で軽傷も〈8/18 岩手日報〉

https://www.iwate-np.co.jp/cgi-bin/topnews.cgi?20160818_1

◆苫小牧西部の大雨対策工事 今年度でほぼ終了〈8/17 苫小牧民報〉

<http://www.tomamin.co.jp/20160841694>

◆地下鉄工事じゃないよ 天神地区の巨大雨水管整備 福岡市が公開 [福岡県]〈8/16 西日本新聞〉

http://www.nishinippon.co.jp/nnp/f_toshiken/article/267230

◆岡山で激しい雨、駅が冠水 JR運転見合わせ帰省客ら400人列車ホテル〈8/15 産経ニュース〉

<http://www.sankei.com/west/news/160815/wst1608150079-n1.html>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20160531/>
